さいしん

第 29 号

2009 年 9 月 27 日発行

袴田巖さんの再審を求める会　会報

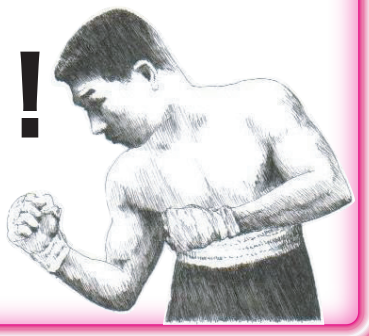
年間会費：3000 円／郵便振替口座番号：00120-3-410592 ／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
〒 101-0061　東京都千代田区三崎町２－２－１３　三崎信愛ビル 502 号
FAX：０３－３２３８－０７９７
ホームページアドレス：http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/
E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

袴田巖さんを救援する清水･静岡市民の会が
「5点の衣類」公開味噌漬け実験！

9・15 ひで子さんが狭山事件や
他冤罪事件の被害者たちと共に
与党３党に申し入れ!!

政権交代で司法はどうなる？

8月、9月と面会なる！



あの KEANE が袴田さんを支援！

Contents

○報　　告	公開！「5 点の衣類」味噌漬け実験	福田 ……	2
○報　　告	9・15 狭山事件集会 & 与党 3 党申し入れ	福田 ……	4
○報　　告	弁護団レポート	福田 ……	6
○おしらせ	9 条フェスタ 2009 が開催されます	石井 ……	7
○報　　告	面会報告	福田 ……	8
○寄 稿 文	東日本ボクシング協会袴田巖支援委員会サポーターとなって	市川次郎さん	10
○レポート	国際アムネスティが報告書で袴田巖さんへの非人間的処遇を非難！	福田 ……	12
○レポート	KEANE が支援 T シャツを着てサマーソニックに登場！	福田 ……	13
○レポート	鳩山新政権への期待	福田 ……	14
○書　　評	『「ごめん」で済むなら警察はいらない』を読んで	井上温子 ……	15
○活動報告	活動日誌、活動予定、編集後記	求める会事務局	16



公開！「5 点の衣類」味噌漬け実験

共同代表・福田勇人

清水の救援会が昨年から続けてきた「5 点の衣類」の味噌漬け実験がいよいよ大詰めを迎え、支援者の血液を付着させて昨年 6 月 30 日に味噌に漬け込んだ「5 点の衣類」を、8 月 31 日 (月) 午後 2 時過ぎから静岡市清水区の辻生涯学習交流館会議室で取り出し、その様子を報道関係者らに公開しました。実験には弁護団の小川秀世事務局長・伊豆田事務局次長・中川弁護士・指宿弁護士が立ち会いました。また、ボクシング協会の新田さんと真部さんが東京から駆けつけ、袴田ひで子さんも参加しました。

「5 点の衣類」とは言うまでもなく事件発生から 1 年 2 ヵ月後の 1967 年 8 月 31 日に、現場近くの味噌工場内に設置されていた味噌醸造用タンクの底から、麻袋に入れられた状態で味噌工場の従業員に発見された血痕付着の白半袖シャツ・ねずみ色スポーツシャツ・緑色ブリーフ・白ステテコ・鉄紺色ズボンのことです。裁判ではこれが袴田巖さんの犯行着衣だとして有罪認定の決定的証拠とされ、昨年 3 月に出された最高裁の再審請求棄却決定でも「長期間みその中につけ込まれていたものであることが明らか」とされています。

しかし弁護団や支援者は、「5 点の衣類」はその発見経過や発見時の状況などから捏造証拠である可能性が高く、しかも血痕付着の衣類が 1 年以上も味噌に漬けられる状況自体、人間の生産活動や消費活動には通常ありえないのだから、それが本当に長期間味噌に漬かっていたかどうかは実験してみないことには判断できないはずだとして、実際に人血を付着させた衣類を、事件発生日と同じ 6 月 30 日に漬け込み、発見日と同じ 8 月 31 日に取り出して 1 年 2 ヵ月間味噌漬けにする実験を行ってきたのです。

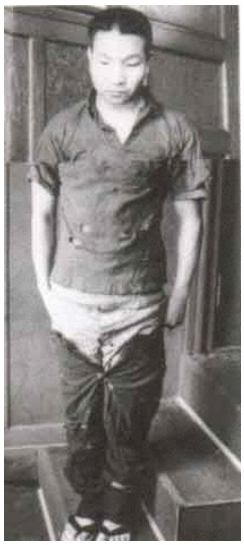
実験の結果、実際に 1 年 2 ヵ月間味噌に漬けられた衣類の白地部分は濃いこげ茶色に変化し発見時の衣類とは明らかに色合いが異なり、付着血液もどす黒く変色してそれが血液なのかさえよくわからない状態になってしまうことがわかりました。ただ、この種の再現実験に対して裁判所は、実験条件の違いを指摘して切り捨てる

ことがほとんどです。今回の実験は味噌漬け衣類の色合いを問題にしていますが、本物の「5 点の衣類」の発見時の色合いは、当時警察が作成した鑑定書の添付写真を参考にせざるを得ないため、現像の状態や退色などの影響で、写真の色合いが発見時の衣類の本当の色合いと同じとは断定できません。しかし、「長期間みその中につけ込まれていたものであることが明らか」とする最高裁も、写真を見てそう判断したのですから、本物の「5 点の衣類」の発見時の色合いがどうであろうと、その判断には影響しません。したがって、今回の実験結果を見る限り、最高裁の判断は全く根拠のない推測に過ぎないことがはっきりしたのです。

実験に立ち会った弁護団の小川秀世事務局長は報道関係者に対し、「2 次再審請求時に裁判所に提出した、20 分味噌漬けにしただけで発見時の『5 点の衣類』の状態を作れるという証拠と今回の実際結果から裁判所の認定の誤りがはっきりした。これだけでも再審開始に十分な新証拠だ」と述べました。弁護団はこの実験結果を報告書にまとめて次回の弁護団会議で最終的に検討し、来月中にも補充書の形で新証拠として裁判所に提出する予定にしています。■



味噌漬け実験の説明をする楳田代表



そもそも袴田巖さんは「５点の衣類」の内のズボンが小さくてはけなかったのだが、さらに…



１年２ヵ月間味噌漬けにしたステテコ



報道関係者にコメントする小川事務局長

9・15 狭山事件集会＆与党３党申し入れ

共同代表・福田勇人

9 月 15 日 (火) 午後 1 時から日比谷野外音楽堂で「狭山事件の再審を求める市民集会 ~ 新政権のもとで冤罪をなくすための司法改革を !~」が開催され、5 日前の 9 月 10 日、32 年ぶりに三者協議が開催された狭山事件の石川一雄さんや弁護団が演壇に立ち、支援要請と近況報告などを行いました。また、民主党から前川清成参院議員、社民党から福島みずほ参院議員、国民新党からは自見庄三郎参院議員も登壇し挨拶しました。そして、足利事件の菅家利和さん、氷見事件の柳原浩さん、志布志事件の川畑幸夫さんら、他の冤罪事件の被害者とともに、袴田事件からも袴田ひで子さんと新田渉世さんが招かれ、1000 人以上の参加者を前に、袴田巖さんへの支援協力を訴えました。

会場には「袴田事件」ブースを設けさせてもらい、書籍販売・署名集め・カンパ要請などを行いました。書籍販売 7,800 円 (『袴田事件』(新風舎文庫・絶版)5 冊、『はけないズボンで死刑判決』(GENJIN ブックレット)5 冊、『無実のボクサー』(絵本)6 冊)、カンパ 7,081 円、署名 82 筆の協力をいただきました。どうもありがとうございました。



集会で支援アピールする新田さん



集会には足利事件の菅家さんも参加 (左・佐藤博史弁護士　右・鎌田慧さん)

集会後ほとんどの参加者は銀座や東京駅前に向けてデモ行進に出発しましたが、ひで子さんら冤罪被害者と関係者は永田町の参院議員会館に移動し、民主党・社民党・国民新党の与党 3 党の国会議員とそれぞれ面会し、取調べの全面可視化や証拠の全面開示など冤罪根絶のための政策を新政権のもとで早急に実現するよう要望書を提出しました (資料集参照)。なお、申し入れ時の様子などは「富山冤罪国賠を支える会」のホームページに同会事務局の山際永三さんが書いた「新政権 3 党に要望書提出」が載せられています (http://toyamakokubai.googlepages.com/20090915yamagiwa.pdf)。

ひで子さんは鳩山由紀夫代表・福島みずほ党首・亀井静香代表宛の直筆の手紙 (次ページ参照) を手渡し、精神に障害を持つ袴田さんへの適切な医療措置と、冤罪根絶のための司法改革を訴えました。そして応対した各党議員は、冤罪根絶のため新政権内でも引き続き努力することを約束してくれました。

当日議員会館で応対してくれた各党議員は以下のとおりです。

民主党：松野信夫参院議員・前川清成参院議員・松岡徹参院議員

社民党：福島みずほ参院議員 (党首)・近藤正道参院議員・照屋寛徳衆院議員

国民新党：自見庄三郎参院議員 (幹事長)

■



自見幹事長と握手するひで子さん

拝啓

民主党代表　鳩山由紀夫様

私は、浜松市に住んでおります　袴田ひで子と申します
先の総選挙の結果　政権交代が実現するのを機に　鳩山代表に
どうしても　私の弟　袴田巖のことを聞いていただきたいと思い、
手紙を書くことに致しました　巖は4人の命を奪った殺人事件の犯人とされ
今から41年前に逮捕されました。巖は拘置中から無実を訴え続けましたが
裁判では、先判所には聞き入れてもらえず、死刑が確定してしまいました。
それから、2年近く巖は家族や友人との面会も制限され、外の空気に
一切触れることもなく、狭い独房で毎日死刑の恐怖に怯えながら過ごして
まいりました。そのせいか　今では「袴田巖はこの世にいない」「俺はハワイの大王だ」
などと話し　自分自身が誰なのかも分からないようになっております。
私は巖の無実を信じておりますが、裁判の結果には従うほかありません。
でも巖はもう60歳です　どうしてこれほど長い間巖を苦しめなければならない
のでしょう。巖をこのまま放っておくことは　私にはできません。今は一刻も
早く　ちゃんとした病院で治療を受けさせてあげたいと思っております。また
巖のような冤罪に苦しむ人が日本からいなくなるよう　司法の改革を
是非とも進めていただきたいと思っています

鳩山代表、どうかお力をお貸し下さい。心からお願い申し上げます

敬具

2009年9月15日

袴田ひで子



申し入れに応対した民主党議員（向かって左から松野議員・前川議員・松岡議員）



手紙を渡したひで子さんと抱き合う福島党首



民主党議員に冤罪の悲惨さを訴える石川一雄さん

弁護団レポート

夏期合宿報告

共同代表・福田勇人

毎年恒例の弁護団夏期合宿が熱海市の「ウェルシティ湯河原」で開催されました。今年の合宿は、８月 22 日 (土) 午後から有志の弁護士と支援者で行ったプレ合宿と、23 日 (日) 午後から 24 日 (月) 午前までの本合宿との２本立てで行われ、前月に三者協議が始まったこともあり今後の弁護方針などについて活発な議論が交わされました。

主な議題は次のとおりです。

（１）清水救援会による「5 点の衣類」味噌漬け実験の経過報告
（２）三者協議の対応 (証拠開示請求の法的根拠について)
（３）第１次再審提出済証拠の取扱い
（４）DNA 再鑑定の可能性
（５）「5 点の衣類」捏造論の再検討
（６）第２次再審の闘い方

議題２は、先の三者協議で検察・裁判所双方から弁護団に対して意見を求められたいわば宿題です (前号『さいしん』参照)。未提出証拠の開示は、検察による「証拠隠し」を許さないためにも、また新証拠発掘のためにも実現しなければならない問題だけに、他の再審事件の状況について関係者に照会することや、過去の開示事例などについてさらに調査することを決めるなど、次回の三者協議で説得力ある回答を提出するための準備が進められました。

議題５は、弁護団内部に「捏造論」を前面に出して主張することへの慎重論が以前からあるため、弁護団の意思統一を図るために提起された問題です。この合宿でも結論は出ませんでしたが、「捏造論」をより深く検討し直す必要があることには異論はなく、各弁護士が担当を決めて、次回弁護団会議までにたたき台を作成することになりました。

今回の合宿で最も議論が白熱したのは議題６です。第１次再審の反省に立ち、第２次再審をどう進めるのがベストかを協議しました。詳細はここでは記載できませんが、弁護団の真剣な議論からは、「袴田さんを何としても救い出すんだ」という意気込みが感じられ、充実した夏期合宿になりました。■



「5 点の衣類」の味噌漬け実験について協議する弁護団



9条フェスタ2009が開催されます

共同代表　石井信二郎

2009.11.15(日)11:00 ～ 17:30

大田産業プラザPiO(京急蒲田駅前)

今年で5回目となります「9条フェスタ2009」に本会も参加し、袴田再審請求審の現状やご本人の状況など最新情報をお届けしながら袴田さん支援の輪をより広げる情宣の場としたいと考えています。また、新政権発足にあたり法務大臣に千葉景子参議院議員が就任されたことで冤罪事件の被害者救済、死刑制度存廃をめぐる建設的議論の開始、裁判員制度の見直しや再審制度改革もふくめた司法制度改革への足係りが得られることを大いに期待します。それらへの働きかけを積極的に行っていき新政権が官僚組織に呑み込まれることを阻止していくことが市民の側に求められていると考えます。

さて本会では、昨年の9条フェスタにおいて「再審制度を問う」と題して個別冤罪事件の不当性をアピールするというマンネリ化した情宣活動ではなく、再審支援や冤罪問題に関心を寄せる市民が単なる同情論を超えて冷静に現行の制度の問題点を理解するための学習会的な企画をしました。

再審開始条件のハードルが高すぎるために誤判救済機能が停止しているかのような現状を具体的に改革して行かなければなりません。再審請求手続きの段階があたかも再審公判であるかのように運用されていてよいのでしょうか。

再審公判における検察の「無罪論告」は禁止されるべきではないのか!?

今年6月4日に釈放されその後6月23日に再審開始決定が出された足利事件の再審請求審では、被害者の肌着に残されていた真犯人の体液のDNA型が申立人である菅家受刑囚のDNA型とは一致しないという鑑定結果が出ていました。これにより犯行を認めた供述調書や公判での証言の信用性に疑問を抱かせるに十分であり、無罪を言渡すべき明白な証拠を新たに発見したと認められ刑訴法435条6項の規定により再審開始決定がなされました。

結果として菅家さんには喜ばしいものとはなりましたが、このような明白な無罪証拠がなければ再審開始がなされないとなると再審開始条件のハードルをいたずらに高め再審制度の制度趣旨を著しく矮小化していると言えます。また無実の人間が実体験のない犯行を認めた供述調書の任意性と信用性を認めた確定判決の重大な過ちが隠蔽されてします。さらに問題なのは、これから始まる再審公判において検察側は「無罪論告」をして確定判決の問題点をなんら明らかにする事なく公判を終了させてしまおうと考えているらしいことです。ここにも現行の再審制度の欠陥が現れています。そもそも再審とは確定判決について重大な疑義が認められ、その確定判決を取り消した上で新たな判決(無罪または刑の軽減)を下す事に意義があるはずです。検察は再審請求審で認められた確定判決への疑義についての再反論ないし、立証義務を負うべきです。もちろん不利益再審は禁止されていますから新たな捜査により新たな証拠を提出しての新たな有罪立証は違法であることは言うまでもありません。いずれにしろ確定判決での有罪立証の破綻、それに至る捜査・取り調べ上の過ちを隠蔽してしまうような検察の無罪論告は禁止すべきであると考えます。検察の良心に期待することは到底かなわないでしょうから刑訴法において再審公判の定義を明確化する必要があります。また、再審公判への入口に過ぎない再審請求審は、新たに「再審法」を制定し裁判所ではなく司法から独立した第三者機関が担当し、国民の権利としての再審請求権が保障される制度を考案する必要があるかも知れません。

「菅家さんや袴田さんが気の毒だ、えん罪被害者のみなさん可哀想だ」といった情緒的な同情論を超えた世論形成と制度改革が必要です。袴田弁護団の西嶋団長の言葉をかりれば、まさに「司法の誤りを正させる契機を,司法に委ねておくのはおかしい。再審の扉を開けさせるカギを,裁判所から取り上げようではないか」という問題意識を再度確認し制度改革への流れを作ってゆきましょう。■



面会報告

共同代表 福田勇人

● 2009 年 8 月 19 日 (水)

(新田渉世さんによる「ブログ袴田巖支援報告」から転載)

袴田巖さんの再審を求める会」福田勇人氏と同行。午後一番で別々に面会申請をしたが、新田のみ面会を認められ、順番を待つ。

呼び出しがかかり、10 階 4 号室へ入った。

袴田さんは薄茶の？字 T シャツに深緑色のハーフパンツを着ていた。

新田　「こんにちは。ボクシング協会の新田です」

巖　　「いやあ、いろいろ忙しくてね。テレビを見るところだったんですよ」

新田　「テレビが見られるんですか。どんな番組を見るんですか？」

巖　　「どんな番組？ん～、劇が多いな」

新田　「世の中の情報とか、ニュースとかも見れるんですか？」

巖　　「そうだな」

新田　「最近では、もうすぐ選挙があって、政権交代をするかも知れないとか・・・」

巖　　「まあ、政治よりも“儀式”の問題だな。自由になっていいという内示がでたんだ。1048 番という私の番号なんだが、なかなかその機会がないんだな・・・」

新田　「体調はどうですか？耳はもう聞こえるようになったんですか？」

巖　　「体調はいい。耳も聞こえるようになった。以前は大きな鳥が入り込んで来たんだが、今は膀胱 (ぼうこう) になって、私の知恵が世界と一つになったんだ」

新田　「不便はありませんか？何か必要な物や欲しい物はありませんか？」

巖　　「(苦笑いをして) 不便？そりゃ此処にいりゃあいろいろありますよ」

新田　「着るものは大丈夫ですか？前に背広と靴が欲しいと言っていましたが、どんな物がいいですか？」

巖　　「以前、娑婆 (シャバ) では小麦色や薄草色のを持ってたな。青系統があった。今は事実が隠されている」

新田　「靴は何色がいいですかね？」

巖　　「茶や黒だな・・・」

新田　「先月お邪魔した時に、ボクシング雑誌を持って来るのを忘れてしまったじゃないですか。今日は先月号と今月号を両方持って来ました。今は (表紙を指して) この長谷川っていう選手が強いんですよ。バンタム級で世界タイトルを 9 度も防衛しているんです」

巖　　「今の時代は、書けばそうなるように出来てるんだ。一切の悪を拒否出来る。人類が清く正しくなれる時代になった。私はずっと戦ってきたんだ。まあ、どこまで戦えるか・・・」

新田　「へえ、そうなんですか」

巖　　「ここでは新しく生活を書かせる。記憶が消されるんだ。本当の記憶じゃない。その食い違いが出てくるんだが、瞬間的に気付くことがある」

新田　「袴田さんの支援活動のお手伝いをさせていただくようになって、もう 3 年半も経ってしまいました。力不足でなかなか進展させられません。本当に済みません・・・。でも東日本ボクシング協会の大橋協会長は大変理解があり、強力に支援をして下さるので助かっています。最近は後楽園ホールで試合プログラムに通信紙を挟み込み、ヘビー級プロボクサーの市川次郎さんという方が、入り口で募金活動もおこなっています」

巖　　「皆、本当の知恵を取り戻さないといけない・・・」

新田　「袴田さんの現役時代のお話を聞いてもいいですか？」
巖　　「本当の知恵をな・・・」
新田　「実際、何キロくらい減量したんですか？」
巖　　「ん～、まあ 6kg~10kg だな」(一人で話していると空想の世界の話が多くなるが、しっかり質問するときちんと答えてくれるところが印象的でした)

係官の方から、「時間です」と言われたが、袴田さんはあまりお構いなしといった感じ。
新田　「今日は有難うございました。またお邪魔します」
巖　　「ああ、じゃ、また・・・」

いつもながら素っ気ない。退室する際、少しだけ左足を引きずるようにびっこを引いて歩いているのが気になったが、全体的には終始スッキリした雰囲気だった。

面会後、ボクシングマガジン８月号・９月号、ボクシングビート９月号、袴田巖さんの再審を求める会の機関誌「さいしん」､袴田巖さんを救う会機関誌「キラキラ星通信」、お花、を差し入れしました。



● 2009 年 9 月 15 日 (火)

この日は、日比谷野音で狭山事件の市民集会に参加する前の午前中、ひで子さん、新田さん、そしてボクシング協会の真部豊さんの３人で面会受付を行いました。真部さんは拘置所から面会不許可を告げられたため、ひで子さんと新田さんの二人が 10 階 4 号室で袴田さんと 15 分ほど面会しました。

新田さんによると、この日の袴田さんは、顔色は良く体調も良さそうだったとのことです。ただ、会話は噛み合わないことが多く、袴田さんに自由に話してもらうと「ハワイの現職社長」とか「鳥が頭に入ってくる」とか、空想の世界の話になる傾向があるようです。

一方で、投薬について聞かれると、「朝３錠、昼１錠、夜２錠飲んでいる」と､はっきり数量を答え､「中瀬」「天竜川」「浜北」など、生まれ故郷の地名などを口にすることもあったそうです。また、その年月日が袴田さんにとってどのような意味を持つのかわかりませんが、「平成２年１月８日以前のことは全てウソだ」と話したそうです。最後に袴田さんから「ありがとうございました」と感謝の言葉が聞かれたのが印象的だったとのことです。差し入れはしなかったそうです。

この日我々は午後６時過ぎから、臨床心理士をやっている支援者の方とお会いし、袴田さんとの面会時のアドバイスなどをもらいました。「トンチンカンな発言の中にも、何か袴田さんなりのメッセージがあるはずだから、言っている事を否定しないで、注意深く耳を傾けることが大事」とのことで、ひで子さんと新田さんは、今後の面会に活かしていきたいと話しています。■



寄稿文

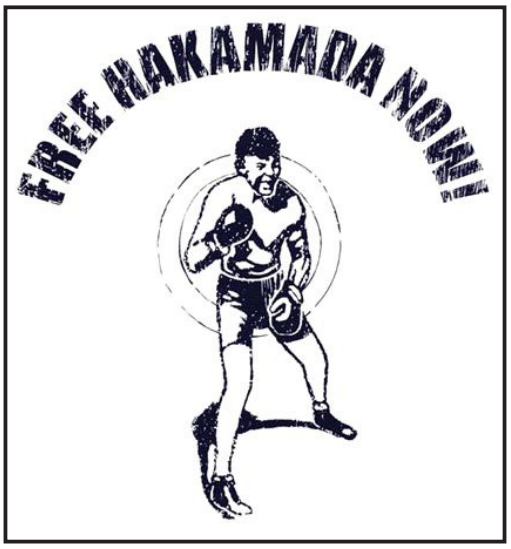
東日本ボクシング協会袴田巖支援委員会サポーターとなって

ヨネクラジム・市川次郎

私が袴田事件について知ったのは、20 年ほど前、学生時代に高杉晋吾さんの『地獄のゴングが鳴った』(三一書房) を読んだ時だったと思う。まだボクサーになる意志を固める前で、自分が将来かかわることになる事件だとは思いもしなかった。

30 歳でようやく遅いデビューを果たした後も、袴田事件のことは忘れて暮らしていた。自分がボクサーとして生きていくのに精一杯だったということもあるが、それだけではない。自分にはどうすることもできない事件だと、あきらめていたのだと思う。

しかし､37 歳定年制のため日本で試合ができなくなったあと、オーストラリアやフィジーで試合をして、その後も現役続行の意思を捨てずに日本で自称ボクサーとして生きていたころ、それまでの私の態度を変えることになる出来事がボクシング業界で起きていた。



トクホン真闘ジムの佐々木隆雄会長が孤軍奮闘するようになっていた状況で、私と同世代の新田渉世会長が新たに袴田さんを救うべく立ち上がったのだ。その後の新田会長の奮闘ぶりと、袴田事件をめぐる世の中の情勢の変化については皆さんご存じのことと思う。しかし、新田さんが立ち上がった当初は、その行動は業界内であまり歓迎されたものではなかったと聞く。新田さんを冷笑するかのような文章をボクシング雑誌で目にしたこともある。私もその頃は、新田さんの行動に敬意を抱きながらも、自分が何か手伝いをしようなどとは全く思っていなかった。

しかし、人間にとって大切なのは何を知っているか、何を読んだかではない。何をやるかなのだ。私より 2 歳年下の新田会長が次々と行動を起こしているの対して、私は『地獄のゴングが鳴った』を読んだきり何もしていなかった。本で知識を得ても、それを社会に役立てていかなければ何の価値もない。『地獄のゴングが鳴った』を読み､地獄のゴングの鳴る音を聞きながら､それっきり見向きもしなかった私は、己を恥じるより他なかった。

そんな思いを抱いていた頃のことだ。2007 年 4 月 22 日、池袋の豊島区立勤労福祉会館で「袴田巖さんの再審を求める集い」があるのを知った私は、会場に出かけてみた。席について開会を待っていると、そこに輪島功一会長、金子健太郎会長、新田会長が現れて私の側の席に座った。自然の流れでボクシング関係者席が出来上がり、私もその一員のような顔をしてそこに座ることになってしまった。

その場で、金子会長から「再審を求める会」の鈴木武秀さんに紹介された。私は金子ジムの高橋良輔選手と何度も戦い、練習もした仲なので、金子会長とも良く知った仲だった。高橋は私との３度目の試合に勝って波に乗り、ついには西島洋介山以来の東洋太平洋クルーザー級チャンピオンとなった。つまり金子会長は私にとっては憎っき敵陣営の親玉ということになるはずなのだが、会えば仲間意識がわいてくるのだから不思議なものである。

初めは、金子会長から仲間として紹介されても「何の戦力にもなれないのに」と思ったのだが、当たり前のように紹介されているうちに、こちらも何となくその気になっていった。

高橋良輔のスパーリング相手として金子ジムに通っていたころには、すでに新田さんは引退されていたので、この日初めて挨拶を交わした。

輪島会長は、私が練習用のバッグを持って来ていたのに目を留めて、「今から練習に行くのか？ オレも現役の時はそうやって、どこへ行くにも練習道具は持って行って、帰りに練習したもんだよ」とおっしゃってくださった。日本では引退扱いになっている私を現役選手として認めてくれただけではなく、袴田さんを救う活動に現役選手が関わることの必要性を示唆してくれたのだと解釈している。

それから 2009 年に入って、『ボクシングマガジン』4 月号でボクシングライターの丸山幸一さんが書かれた

「袴田巌さんの支援行動報告会」という記事を読んだ私は、さらにもう一歩、袴田さんの支援活動へと踏み出すことになった。その記事で、２月 27 日に、なんと！あの鈴木宗男さんと辻元清美さんが、袴田ひで子さんと３人でがっちりと握手しているという、数年前には全く想像することのできなかった写真を見て驚くとともに胸が高鳴るのを覚えた私は、新田会長からの袴田巌支援委員会のサポーター募集との声に応じて後楽園ホールでの募金活動の手伝いをすることになった。

５月 16 日には、後楽園ホールにいらした熊本典道さんにお会いして話をすることができた。熊本さんが出ていらしたテレビ朝日の「ザ・スクープ」を見て感動したので米倉会長にもダビングしてみせたいと申し上げたところ、熊本さんに「ぜひ見せてほしい」と言われた。そこで米倉会長だけではなく、袴田さんの支援に加わっている会長たちにもダビングして配っている。

後楽園ホールでは、募金してくださるお客様から「がんばってください」と声をかけてもらえることが多い。しかし、足腰をきたえてあるボクサーにとっては、３時間やそこら立っていることなど、がんばりのうちには入らない。もちろん、お客様も「がんばって立っててね」と言っているわけではない。がんばって、袴田さんを何としてでも救えとおっしゃっているのだ。

となれば、何をどう、がんばればいいのかを考えなければならない。あれこれ考えた中から、今回は皆様方に一つ、お願いをしようと思う。

袴田巌さん本人の獄中書簡集、『主よ、いつまでですか』(新教出版社) を一人でも多くの人に読んでいただきたい。そして一人でも多くの人にすすめていただきたい。なかでも、文学者と政治家に。そして、書店の経営者と店員に。

この本を読めば､誰もが袴田さんの文章の格調の高さ、内容の深さに驚くと思う。もし、この本を読んで心が動かないような文学者、政治家がいたなら、その人は文学者失格、政治家失格だと思う。

私はこれまで、私ごときが袴田さんのセコンドについたところで何ができるだろうと思っていた。第一、袴田さんには優秀な弁護団、熱心な支援者がセコンドとしてついている。観客席から私は何をすればいいのか？

しかし、私は大きな思い違いをしてきたことに気が付いた。ボクサー袴田巌が、リング、ではなく牢獄の中で勝利をつかむには、セコンドや観客ではなく、ボクサー袴田巌自身が戦わなければならないのだ。

そしてボクサー袴田巌はグローブをペンに持ち変えて拳を振ってきたのだった。

私はこれまでに、袴田巌書簡集ほどにパンチのある文章を読んだことはない。袴田巌書簡集ほどに熱い魂の叫びを聞いたこともない。

袴田巌は自らのパンチで正々堂々と勝利をつかむ力を持っている。あとは公明正大なレフリー、ジャッジを用意するだけのことだ。

「お母さん、人生は七転八起とか申します。最後に笑う人が勝つとか申します。また皆さんと笑って話すときが絶対に来ます。」袴田巌

『主よ、いつまでですか』

■



『主よ、いつまでですか～無実の死刑囚・袴田巌獄中書簡』
無実の死刑囚・袴田巌・獄中書簡
* 袴田巌さんを救う会編
* 定価 :1,600 円
* 発行年月 :1992/08/15　新教出版社

下記からですと送料込みで 1,500 円！
無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巌さんを救う会ホームページ
http://www.h3.dion.ne.jp/~hakamada/index.html

国際アムネスティが報告書で袴田巖さんへの非人間的処遇を非難！

共同代表・福田勇人

世界中で人権保護活動や死刑廃止運動を活発に展開しているアムネスティ・インターナショナルが９月10日、精神障害を持つ日本の死刑囚に関する報告書「首に掛けられたロープ：日本における精神医療と死刑」を発表し、その中で一事例として袴田巖さんを紹介しながら、日本政府による長期にわたる非人間的処遇を強く非難しています（資料集に一部抜粋）。残念ながら今のところ報告書の日本語訳はありませんが、アムネスティ日本によると、将来的には日本語にも訳したいとのことです。

「死刑が増加」と日本を非難 アムネスティが報告書

【ロンドン＝土佐茂生】国際人権団体「アムネスティ・インターナショナル」は10日、「日本の死刑と精神医療」と題する報告書を発表し、日本はアジアで死刑執行数を増やしている２国のうちの一つ（もう１国はパキスタン）だと非難した。

具体例を挙げながら、公判時に責任能力の有無を問われた者や拘禁中に精神的な変調をきたした者、歩けなくなった高齢者らの死刑が執行されている点を問題視している。06年からの３年間で死刑執行された32人のうち17人が60歳以上で、77歳の執行は他に例がないという。こうした刑が執行された死刑囚の情報が十分に開示されていない点も批判。死刑囚の拘禁状態も劣悪で、事実上「社会に抹殺されている」とした。

その上で日本政府に対し、刑務所の状況を国際人権基準に合うよう改善する▽受刑者とその弁護士が、捜査、公判、上訴の期間において法医学的な検査を求める権利を与える、ことなどを勧告した。

アムネスティ・インターナショナル日本の寺中誠事務局長は「民主党政権は、死刑廃止に向けた議論を進めるよう期待する」と語った。

朝日新聞インターネット版2009年９月10日配信記事

実は、この報告書作成のために来日していたジェームス・ウェルシュ博士らが、東京拘置所で袴田さんとの面会を試みて拘置所に拒否された今年の４月22日は、たまたまボクシング協会の新田さんと私も拘置所に面会に行っており、面会後小菅駅でウェルシュ博士らと偶然会っていました。下はその時撮った写真です。



向かって一番左がウェルシュ博士

アムネスティ・インターナショナルによる袴田さん支援キャンペーンは、昨年10月の「ライティング・マラソン」から本格的に始まり、今年３月にはアムネスティと協力して死刑廃止を訴えているアリステア・カーマイケル下院議員がイギリスから来日し、ひで子さんや我々支援者と懇談しています。今回の報告書も支援キャンペーンの一つと捉えることも可能でしょう。そして支援の輪は、今ではなんとイギリスの人気ロックバンド「KEANE」にまで広がっています（次ページ参照）。

ところで、冤罪事件の支援活動は必ずしも死刑廃止運動とは結び付きません。でも袴田さんが死刑囚である以上、我々は死刑制度についても考えざるを得ません。そして日本の現行死刑制度に多くの看過しがたい欠陥がある以上、その改善を求める団体や運動と歩調を合わせることは、決して袴田さんにとってマイナスにはならないとの判断から、アムネスティによる袴田さん支援キャンペーンにも賛同しています。しかし我々は、袴田さんを支援する意思があるあらゆる団体・運動と連携する用意があります。冤罪支援には、右も左も、和も洋も、死刑存置派も廃止派も関係ありません。

今や袴田さんへの支援は国際的な広がりを見せています。国内でもより力強く支援活動を推進し、袴田さんの早期解放を勝ち取りましょう!FREE HAKAMADA NOW! ■

KEANE が支援 T シャツを着てサマーソニックに登場！

共同代表・福田勇人

皆さん、イギリスのロックバンド KEANE(キーン) が袴田巖さんの支援に協力してくれていることをご存知でしょうか。

先月 7 日から 9 日まで東京と大阪で開催された「サマーソニック 2009」に出演するため来日していた KEANE ですが、ドラムスのリチャード・ヒューズさんが袴田巖再審支援 T シャツを着てステージで演奏したり (水色バージョン)、インタビューに答えたり (茶色バージョン) してくれています。

KEANE のホームページにアップされたビデオレポート
http://www.keanemusic.com/archive-comment.php?rnd=Hd4MDlFdXPybOSsc9TF5kOnhhdEAePwQwb1nuHFAJpk%3D

KEANE はアムネスティ・インターナショナルの活動に賛同しており、今回はその一環として、アムネスティが支援キャンペーンを行っている袴田巖さんのために、ライブで自ら支援 T シャツを着て「袴田事件」をアピールしてくれたのです。

今回の件で支援 T シャツをイギリスに送るにあたっては、製造元の鐘百繊維工業さんにも協力していただきました。KEANE のような有名人はもちろんのこと、多くの一般の人にもこの袴田巖再審支援 T シャツを着てもらい、「FREE HAKAMADA NOW!」のメッセージを世界中に発信できればと思います。

袴田巖再審支援 T シャツ通販サイト
http://www.free-hakamada.com/

なお、サマソニでの KEANE のライブの様子は、来月 25 日 (日)19:00 ～ 21:00、音楽番組専門チャンネルの「MUSIC ON! TV」で放送されます。視聴できる方はぜひご覧下さい！
http://www.m-on.jp/summersonic09/

■



『パーフェクト・シンメトリー』
Perfect Symmetry
CD by KEANE





鳩山新政権への期待

共同代表・福田勇人

８月の総選挙で国民の圧倒的支持を得て勝利した民主党中心の鳩山政権が９月 16 日に発足した。我々袴田巖さんの支援者にとって最も関心が高かったのは、もちろん法務省政務三役 (大臣・副大臣・政務官) に誰が就任するのかだった。死刑執行命令書にサインするかどうかの最終判断を委ねられているのはご存知のとおり法務大臣であり、我々が昨年来求めてきた刑事訴訟法第 479 条に基づく死刑執行停止命令の発令権限を持っているのも法務大臣だからだ。

また、20 年以上棚晒しにされている袴田さんの減刑恩赦の出願について審査する中央更生保護審査会のメンバーの任命権も法務大臣が握っており (更生保護法第６条)、さらには弁護団が検察に再三要求してきた未提出証拠の開示などについても、検察庁法第 14 条に基づいて検察官やそのボスである検事総長に対し法務大臣は「抜かずの宝刀」と言われる「指揮権」を発動することも不可能ではないのである。

つまり、「疑わしきは被告人の利益に」という刑事裁判の鉄則を無視して冤罪被害者を生み続けながら、何の反省も謝罪もせず、説明責任も果たさない腐り切った裁判所に期待するまでもなく、法務大臣の決断次第で近い将来に袴田さんが自由の身になることも十分あり得るのだ。もちろん司法に再審開始決定と無罪判決を出させるのが正攻法だろう。しかし袴田さんはすでに高齢であり、しかも精神を病んでしまっている。早期解放に向けて司法による解決以外の道を探る必要があることに異論はないだろう。

検察庁法第 14 条

法務大臣は、第４条及び第６条に規定する検察官の事務に関し、検察官を一般に指揮監督することができる。但し、個々の事件の取調又は処分については、検事総長のみを指揮することができる。

そして今月 16 日、袴田さんの生死に関わる重要な権限を持つ法務大臣が、また 18 日には法務大臣を補佐する副大臣と政務官の人事が発表され、法務省の政務三役は次の顔ぶれに決まった。

法務大臣：千葉景子参院議員 (神奈川選挙区)
法務副大臣：加藤公一衆院議員 (東京 20 区)
法務大臣政務官：中村哲治参院議員 (奈良選挙区)

鳩山政権が掲げる「脱官僚依存」政治は、当然法務行政においても実現してもらわなければ困るのだが、法務官僚とはすなわち検察庁から出向し法務省の主要ポストを独占している検察官たちのことだ。「日本最強の権力集団」とも言われる検察は、民主党がその政策集に記載している「取り調べの可視化」や「証拠開示の徹底」など、捜査機関に都合の悪い政策には強く抵抗するだろう。就任直後の記者会見で死刑廃止議連のメンバーであることを公言し、死刑執行については「人の命にかかわるので、法相の職責を踏まえながら慎重に取り扱う」と発言した千葉大臣に対し、ある法務省幹部は「個人的に死刑廃止の考えを持っていても、大臣の立場では (死刑執行命令書へのサインを拒むのは) 難しいのでは」と報道関係者にコメントするなど、すでに千葉大臣を牽制し始めている。

取り調べの可視化、証拠開示徹底による冤罪防止

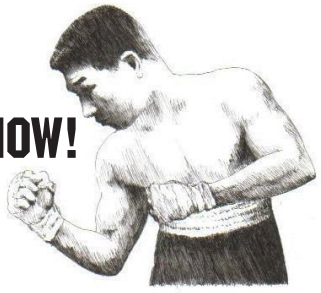
警察、検察等での被疑者取り調べの全過程についてビデオ録画等による可視化を図り、公正で透明性の高い刑事司法への改革を行います。

最近、富山氷見事件や志布志事件、足利事件などの冤罪事件が相次いで明らかになりましたが、最大の問題は密室での取り調べです。取り調べでの自白の強要による冤罪を防止するため、１裁判で自白の任意性について争いになった際に検証できるよう、取り調べの全過程を録音・録画することを捜査当局に義務付ける ２刑事裁判での証拠開示の徹底を図るため、検察官手持ち証拠の一覧表の作成・開示を義務付ける――等を内容とする刑事訴訟法改正を実現します。

『民主党政策集 INDEX2009』12 ページからの抜粋

そこで重要になってくるのが副大臣と政務官のサポートだ。政治家主導による政治を現実のものとするには大臣一人が奮闘するだけでは覚束ない。副大臣と政務官を

合わせた政務三役がガッチリとスクラムを組み、適宜与党議員と連携しながら闘わないことには到底官僚を押し切れない。ただし、他の省の多くが副大臣と政務官の定数を２名以上と定めているのに比べ、どういう理由からか法務省はそれぞれの定数が１名ずつに抑えられているため、より苦戦を強いられるかもしれない。法曹資格を持たず、必ずしも「法律のプロ」とは言えない加藤副大臣と中村政務官が千葉大臣とチームを組み、日本最強を自負する検察と一体化した法務官僚とどこまで渡り合うことができるのか正直不安がないわけではないが、鳩山政権としても政権交代の象徴的出来事を法務行政においても演出したいはずだ。我々は、それが取調べの可視化法案の成立だけにとどまらず、袴田さんの死刑執行停止命令や恩赦の決定、はたまた未提出証拠の開示に関する検察への指揮であることを大いに期待しているのだが・・・。■



FREE HAKAMADA NOW!

GO!AHEAD!!

ホームページアドレスが変更になっています。

http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/

ただいまこちらのブログを更新しています。HP のお手伝いをして下さる方がおりましたら、こちらまで。

E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

カンパのお願い

☆会では活動資金が必要です。
☆どうぞカンパにご協力下さい。
☆ボーナスカンパ大歓迎！

郵便振替口座番号：
00120-3-410592

口座名称：
袴田巌さんの再審を求める会

『「ごめん」で済むなら警察はいらない』を読んで

井上温子さん

ほんとうにひどい現実があるものです。しかもこのような冤罪被害は少なくないのです。市民を守ってくれるはずの警察と、真実を見極めてくれるはずの裁判所が冤罪を生み出しています。過失とは言い難く、故意、怠慢、出世欲など様々な不当な思惑から組織的に冤罪は生み出されます。

冤罪被害者の方の精神的肉体的苦しみは筆舌に尽くしがたく、また失うものは絶大です。「自分で自分の心を殺し、自分は犯罪者であると思い込まなければ、やってもいないことで刑に服することなど到底できない」という柳原さんの言葉からは壮絶な痛みが伝わってきます。

警察官、検察官、裁判官が人として真摯に職務を遂行しようとするならば、この柳原さんの現実を直視してほしいです。そして柳原さんの国賠訴訟がきちんと審理されることは、袴田さんや他のたくさんの冤罪被害者の方たちの一筋の光となると信じます。

柳原さんのお気持ちがほんの少しでも救われるよう、冤罪が作り出された過程が明らかになることを切に願います。■



「ごめん」で済むなら警察はいらない
―冤罪の「真犯人」は誰なのか？
著者 / 訳者名 柳原浩 / 編　出版社名 桂書房
発行年月 2009 年 08 月　価格 1,365 円 (税込)

活　動　報　告

8/5　専大シンポ関連書籍出版打合わせ (竹橋・ニュートーキヨー)
8/12　ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・ヴィッキーズ)
8/16　求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
8/19　袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
8/22~23 弁護団プレ合宿参加 (湯河原・ウェルシティ湯河原)
8/23~24 弁護団合宿参加 (湯河原・ウェルシティ湯河原)
8/26　袴田事件関連書籍出版打合わせ (水道橋・東銀座出版社)
8/31　「5 点の衣類」公開味噌漬け実験 (清水・辻公民館)
9/9　ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・ヴィッキーズ)
9/12　求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
9/15　狭山事件集会参加 (日比谷・日比谷野外音楽堂)
9/15　冤罪事件関係者与党 3 党申入れ (永田町・参院議員会館)
9/15　臨床心理士と打合わせ (新宿・ルノアール)
9/18　DNA 鑑定業者訪問 (新宿・法科学鑑定研究所)
9/24　弁護団証拠開示班会議参加 (巣鴨・村崎法律事務所)
9/27『さいしん』29 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)9/27　『さいしん』28 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

Free Hakamada Now!!!

☆少しでも広めて下さい！☆
◇力をかしてして下さい◇
★カンパをお願いします！！！★

活　動　予　定

求める会

9/29　9 条フェスタ準備会議 (永田町・参院議員会館)
9/30　袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
10/12　求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
11/15　9 条フェスタ (蒲田・大田区産業プラザ PiO)
11/29『さいしん』30 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

その他の団体

9/29　DNA 鑑定業者訪問 (新大久保・エスアールエル)
10/6　弁護団勉強会 (静岡・弁護士会館)
10/6　弁護団会議 (静岡・弁護士会館)
10/7　ボクシング界支援委員会 (水道橋・ヴィッキーズ)
10/10　死刑廃止フォーラム集会 (新宿御苑前・四谷区民ホール)
11/19　弁護団勉強会 (霞が関・弁護士会館)
11/19　弁護団会議 (霞が関・弁護士会館)

編集後記

イギリスの人気ロックバンド KEANE のドラムのリチャードさんはご自身のブログでも袴田さんのことを紹介しています。KEANE のホームページ (http://www.keanemusic.com/) のトップにサイト内検索 (Search Published content) があるので、そこに「hakamada」と打ち込んで検索するとそのページへのリンクが出てきます。そのリンクをクリックすると当該ページに辿り着きます。KEANE のアジアツアーの様子が書かれていて、そのページの中程に日本での様子や袴田さんの事について言及するところが出てきます。演奏時に袴田さん支援 T シャツを着ている事と袴田さんの置かれてる状況の説明、最後にアムネスティの袴田さんのページのリンク (http://www.amnestyusa.org/individuals-at-risk/global-write-a-thon/hakamada-iwao/page.do?id=1011524) が貼られてます。そしてこの頃僕は…KEANE 三昧です。（ペンネーム zan）